



Tohto University
Sincerity with Compassion

President's Newsletter

Vol.1 2024年7月1日

“President's Newsletter”発刊について

東都大学の教職員の皆さん、学長からのお知らせです。このたび、大学内外の時機を得た話題を提供するために、このニュースレターを発行することにしました。学長室に集まった情報から全学の話題となるものがあつたときに、全教職員に電子配信します。大学の現状、動向、今後について不定期に発信する予定です。

今回の第1号は、本年度新たに埼玉工業大学に設置された、東都大学と埼玉工大の提携大学院の始動状況について幕張ヒューマンケア学部臨床工学科山下和彦教授から届いた情報をお伝えします。埼玉工大内に本学の教員で構成される教育研究分野が設置されたことは知っている方も多いと思いますが、実際にどのように大学院の教育研究が行われているのかについて、理解を深めて頂けることと思います。本学の教職員でも、修士や博士号を取得したいと思っている方がいると思います。東都大学と埼玉工業大学両方のリソースを利用したユニークな大学院で、仕事を継続しながら勉強し学位を得ることができますので、是非一読下さい。

今後も随時ニュースレターを発信したいと思っています。投稿記事も歓迎いたしますので、学内外の情報で教職員に伝えたいこと、あるいは興味を引くようなことがあればお寄せください。

学長 吉岡俊正

提携大学院について

本学では2024年4月から埼玉工業大学と共同で提携大学院をスタートさせました。本学が提供する分野は工学研究科 情報システム専攻 ヘルスケア科学教育研究分野です。本大学院は8名の教員が担当し、医学、看護学、臨床工学、リハビリテーション、情報工学等の観点から幅広くカバーできる教育研究体制を整えております。

現在の本研究分野の大学院生は3名で、全員が社会人修士です。本学の提供する大学院の講義(特論)は8名の教員が半期に2コマずつオンライン、あるいはオンデマンドで提供できる体制を整え、社会人でも安心して受講できるよう工夫しております。特論はヘルスケア科学教育研究分野の大学院生のみが受講するのではなく、機械工学専攻等からも履修します。そのため特論の進め方によっては他の教育研究分野の知識や発想も学べます。



TOHTO University

大学院では研究活動を推進します。現在は週に1回行われるゼミで3人の大学院生と4名の教員が英語、あるいは日本語の論文の抄読会を行い、論文の読み方、結果の考察、統計学的な検討などを学んでいます。現在は教員も論文の抄読を担当しており、実践的な研究の取り組みや幅広い知識、スキルの習得に役立っています。そして研究指導は各研究室で進められています。

修士課程の学修目標は3つあります。①自分の専門分野や経験だけではなく、幅広い知識を取り入れ、考え、それを活かせる理解力と行動力を高めること、②先行研究の調査方法、研究の組み立て方、実験計画の作成段階からアウトカムの構築を目指すスキル、統計解析などの分析能力の習得、③論文にまとめる能力が挙げられます。さらに博士課程になると、論文のパブリッシュ、学会などでのディスカッション能力、学術的・社会的役割を果たすための基礎を身に着けることが要求されます。

本大学院の定員は3~5名と少ない枠です。入試は9月と3月に行われる計画です。ヘルスケア科学教育研究分野の志望者は社会人、本学の学生、埼玉工業大学の学生、外部の方が対象です。教育の新規性、学術的興味が喚起されると志望者が増加することが予測されます。大学院の入学は事前に指導教官を決め、研究内容を相談し、受け入れられなければなりません。一定の期間が必要となることから、十分な準備が必要となります。本学のHPの提携大学院のページに担当教員の詳細と研究分野が記載されていますのでご確認ください。

幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科 教授 山下和彦



SAIKO 埼玉工業大学